

第5学年 道徳指導案

指導者

- 1 日時 平成26年11月25日(火) 第5校時
- 2 学年組 第5学年 組 名
- 3 主題名 情報の信ぴょう性 内容項目1-(3)〔自由・自律・責任〕
- 4 教材名 インターネットにはまちがった情報も存在する(事例で学ぶNetモラルA-13)
- 5 単元について

児童について

本学級は、課題に前向きに取り組む雰囲気があり、授業で積極的に発言している児童が目立つ。また、席が近い人同士での情報交換も進んで行うことができ、友だちの考えを素直に受け入れようとする雰囲気がある。

総合的な学習の時間や社会科などで調べ学習をする際にインターネットを利用する児童が多く、家庭でもPCやスマートフォンなどでインターネットから情報を得ていることが多い。そして、休み時間などにテレビやインターネットの情報が話題になっているのをよく見かける。

教材について

インターネットの普及により、情報を手軽に入手することができるようになった反面、安易にインターネットの情報を鵜呑みにしてしまい、間違った情報や古い情報を信じてしまうことも増えてきている。

本資料は、社会科の調べ学習の時間に、インターネットを使って自分たちの住んでいる町について調べていた児童が、インターネットの古い情報をそのまま利用してしまう。町の人口推移のグラフと町の飲食店のマップは、図やグラフでまとめられていて、とてもわかりやすい。しかし、発表するときに、その情報が古くて現在の様子と違うことを指摘され困ってしまうという内容構成になっている。

指導について

本時では、まず今までの調べ学習でインターネットを活用したときのことをふり取り、インターネットの利便性について話し合う。

インターネットは、すぐにたくさんの情報を見つけることができ、本や新聞などに比べて新しい情報や、より詳しい情報などを知ることでもできる。しかし、ホームページには、「公式サイト」と「非公式サイト」があり、「非公式サイト」は個人が趣味で立ち上げているものが多く、その内容を吟味されていないものも多い。

「インターネットには間違った情報も存在する」のビデオを視聴し、インターネットの情報の発信時期や発信元を確認せずに発表してしまった主人公たちの行動について考えさせることで、調べ学習などにおけるインターネットの情報の信憑性について、改めて考えさせたい。

最後に、自分たちが日常生活においてさまざまな情報を得ている中で、その信憑性を確認することなく伝えている状況がないかをふり取り、情報を鵜呑みにすることの危険性について話し合う。そして、人に伝える前に、情報を自分で確認、判断することの大切さについて考えさせたい。

《資料》 小学校学習指導要領解説 道徳編 より

第3章 道徳の内容 2 内容項目の観点

1 主として自分自身に関すること

(3) 自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。

自由には、自分で自律的に判断し、行動したことによる自己責任が伴う。自分の自由な意志によっておおらかに生きながらも、そこには内から自覚された責任感の支えによって、自ら考え、判断し、実行するという自律性が伴っていることが求められる。

第5章 道徳の時間の指導 4 道徳の時間の指導における配慮とその充実

5 情報モラルの問題に留意した指導

(2) 情報モラルへの配慮と道徳の時間

具体的には、例えば、相手の顔が見えないメールと顔を合わせた会話との違いを理解し、メールなどが相手に与える影響について考えるなど、インターネット等に起因する心のすれ違いなどを題材とした指導が考えられる。また、ネット上の法やきまりを守れずに引き起こされた出来事などを題材として授業を進めることも考えられる。その際、その問題の根底にある他者への共感や思いやり、法やきまりのもつ意味などについて児童が考えを深めることができるように働きかけることが重要になる。

なお、道徳の時間は、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深めることを通して道徳の実践力を育成する時間であるとの特質を踏まえ、例えば、情報機器の使い方やインターネットの操作、危機回避の方法やその際の行動の具体的な練習を行うことにその主眼を置くのではないことに留意する必要がある。

6 ねらい

○ネット上には間違った情報や古い情報があることを理解し、自ら判断し責任を持って伝える態度を育てる。

7 本時の展開

○学習活動 ・児童の反応	指導上の留意点（※）
<p>① 普段の生活をふり返り、どのようにして情報を得ているかを話し合う。</p> <p>情報は、どこから手に入れていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日テレビを見ている。 ・インターネットでいろいろなホームページを見ている。 ・図書室の本や雑誌などを読んで手に入れている。 ・友だちから教えてもらう。 ・家族から教えてもらう。 <p>② 「インターネットには間違っただ情報も存在する」を視聴して、話し合う。</p> <p>発表したことが間違っていると知ったとき、2人はどんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せっかく調べたのに、まちがった情報だったなんて、残念。 ・いつの情報なのかを確かめておけばよかった。 ・インターネットでいい情報が見つかったからと言って、すぐに調べるのをやめたのがいけなかった。 ・インターネットの情報が古かったのだから、自分たちは悪くない。 ・次はもっと詳しく調べよう。 <p>③ 振り返る</p> <p>自分で確かめずに聞いたことを鵜呑みにして困ったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸能人の噂を聞いて友だちに話したら、それが間違っていることを指摘された。 ・買い物のとき、値段が分からなくて友だちに聞いた金額を持って行ったら、足りなかった。 <p>④ 本時のまとめをする。</p> <p>自分が情報をどのように受け止めていたかをふり返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットやテレビの情報はいつも正しいと思っていた。これからは、それが間違っているかもしれないということを忘れないようにしたい。 ・友だちのうわさ話に振り回されることがあった。自分が直接見たり聞いたりしたことじゃないときは、もっと冷静に受け止めるようにしたい。 	<p>※総合的な学習の時間に米作りについて調べた経験や、普段の生活の中での情報のやりとりなどを想起させる。</p> <p>※自分自身の経験と重ね合わせて、2人の気持ちを考えさせる。</p> <p>※インターネットの特性（誰もが簡単に情報を発信できること）を押さえ、情報の信憑性を自分で確認、判断することの大切さに迫っていきたい。</p> <p>※インターネットや本など、内容が古かったり、まちがっていたりする例を紹介し、身近なところでもまちがった情報があることを示す。</p> <p>※インターネットや本などの情報に限らず、友だちや人からの情報など、身近な例を取り上げ、身の回りの情報について広く考えられるようにする。</p> <p>※経験だけを振り返るのではなく、その時の思いにも触れる。</p> <p>※授業全体を振り返ることで、さらに本時のねらいに迫る。</p>